

参考資料

アウトカム指標と平成 17 年度の目標値

本州四国連絡高速道路における管理の適正な水準を確保し，お客様に満足いただけるサービスを提供していくために，管理の実施による成果を定量的に評価する指標（アウトカム指標）を定め，平成 17 年度の目標値を設定しました。

アウトカム指標	指標の説明	H17 年度目標値	参 考 (H16 年度実績)
本線渋滞による損失時間 ¹	渋滞が発生することによる利用者の年間損失時間	5.2 万台・時/年	5.2 万台・時/年
路上工事（陸上部）による車線規制時間	路上工事（陸上部）に伴う年間の交通規制時間	6.6 時間/km・年 ²	6.6 時間/km・年
E T C 利用率	E T C 導入済み料金所における E T C 利用者の割合	70 % (3 月の平均)	37.7 % (3 月の平均)
道路交通における死傷事故率 ³	走行車両 1 億台キロあたりの死傷事故率	9.1 件/億台キロ	9.1 件/億台キロ
道路構造物保全率			
	陸上部橋梁	今後 5 年間程度は通行規制や重量制限の必要のない段階で予防的修繕が行われている橋梁の延長の割合	100 %
	舗 装 ⁴	道路利用者が快適に感じる舗装の状態が保持されている道路延長の割合	99 %
耐震補強完了率	昭和 55 年より古い基準等で設計した陸上部橋脚のうち、耐震補強が完了した橋脚基数の割合	64 %	64 %

- 1 神戸淡路鳴門自動車道において渋滞が確認されている垂水 IC～淡路 IC 間および鳴門北 IC～鳴門 IC 間を対象としています。
- 2 海峡部は、年度による変動が大きいため、規制時間目標値の対象に加えていません。
- 3 西瀬戸自動車道は、西瀬戸尾道 IC～生口島北 IC 間の事故件数を対象としています。
- 4 舗装のひび割れ等による損傷は年々増加してきており、管理コストと道路利用者の快適性を勘案し、平成 17 年度の目標値を設定しています。